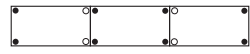


# ニーズや個性に合わせて、組みかえ・拡張が変幻自在。

ポールを共有するとユニットの拡張性が高まります。そのうえ、アドオンシェルフコネクタを使用すればワイヤーシェルフ同士を連結可能です。

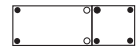
※●は棚板にポールを通し、○は棚板のみの使用を表します。  
 ※コネクタ使用時は必ず棚板の接する面に2箇所ずつご使用下さい。  
 ※組み立ての際は、必ず棚の最下段から組み立ててください。  
 なお解体する場合は最上段から順に取り外してください。  
 ※ベーシックシリーズとスーパーシリーズの互換性はありません、お買い求めの際はご注意ください。

## アドオンシェルフコネクタを使用した場合



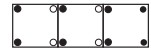
### ●直線（並列）組み合わせ

独立するユニットの片側または両側に、新たなユニットを並列に接続します。大小サイズの異なる収納物をバランスよく収納できます。



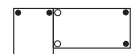
### ●高低差形組み合わせ

低めのユニットに、450mm四方のシェルフによる背の高いユニットを接続。このユニットは、部屋のコーナーなどに付けられ省スペースに。



### ●離壇形組み合わせ

450mm四方のシェルフならではの組み合わせ。収納面の高低変化のおもしろさが表現できます。収納スペースの割に圧迫感がありません。



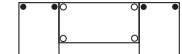
### ●“L”字組み合わせ

独立するユニットの前面に、新たなユニットの側面をL字形に接続します。お部屋のコーナーを利用して、大きな収納面を確保します。



### ●“T”字組み合わせ

独立するユニットの前面中央に、新たなユニットの側面をT字形に接続します。接続部分のユニットは、両サイドから物の出入りが可能。



### ●“コ”の字組み合わせ

2台の基本ユニット間を橋渡し(引掛け)します。限られた面積を効率的に活用することで、大きな収納スペースが得られる方法です。

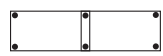
[コネクタの種類] アドオンシェルフコネクタ：ワイヤーシェルフ×ワイヤーシェルフの連結

## ポールを共有した場合 (ポールを共有して組み合わせる場合は、下から順に取り付けてください。)



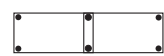
### ●橋渡し組み合わせ

2台の基本ユニットの内側の柱を共用し、棚板(必要枚数)を取りつけます。ウッドシェルフ1枚を使えば、そこがデスク面になります。



### ●段違い組み合わせ

独立するユニットの片側ポール2本を使用し、高さが違う新たなユニットを接続。収納時の視覚的変化が楽しい並列型です。



### ●段違い組み合わせ(デスクタイプ)

基本ユニットの片側に、デスク形状の新たなユニットを接続。基本ユニットのシェルフとは段違いのため、ポール兼用も問題ナシです。

エレクター株式会社

# ERECTA BASIC SERIES

2023.01

## ワイヤーシェルフ組立説明書

この度は、ワイヤーシェルフをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品を安全にお使いいただくために、この説明書をよくお読みいただき、内容をご理解のうえ注意事項を遵守していただくようお願いいたします。

### ご使用前に必ずお読みください

- 組み立て前に部品の不足・破損がないか、必ずご確認ください。
- 組み立ては、この説明書をよくお読みになり手順に従って正しく組み立ててください。誤った組み立ては破損やケガの原因になります。
- この取扱説明書は組み立て後も保管してください。

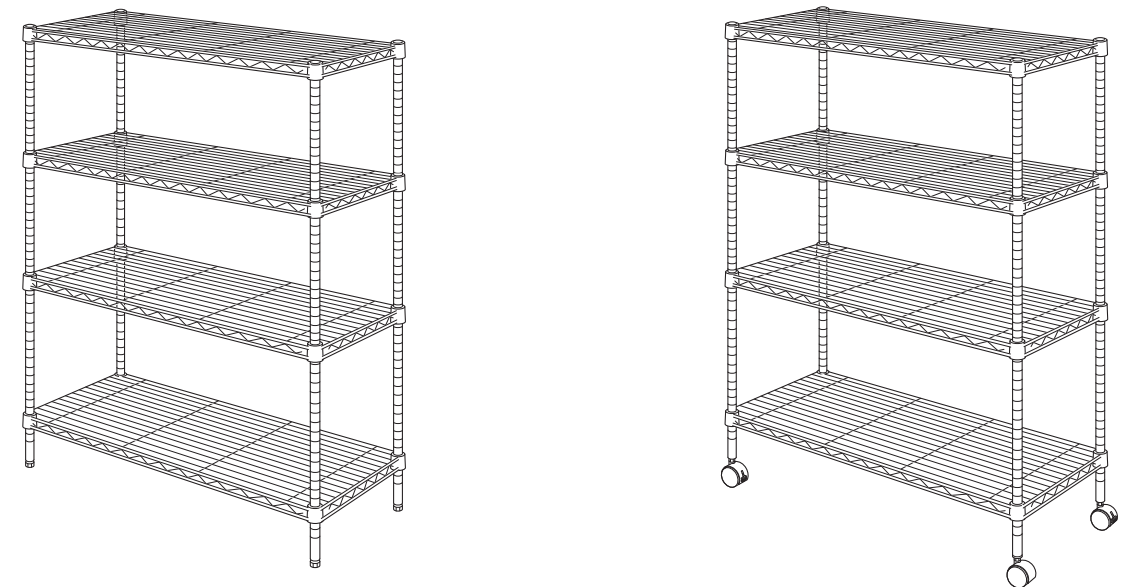


- 耐荷重を超えて物を載せないでください。耐荷重は、棚1段あたり垂直荷重(等分布)135kgです。破損やケガを招くおそれがありますので厳守してください。
- 棚にぶらさがったり、上によじ登ったりして遊ばないようにご注意ください。ケガをしたり、破損につながります。
- 踏み台にするなど、棚の上には絶対に乗らないでください。転倒によるケガや破損など、大きな事故につながる恐れがあります。



- 棚板2枚以上(積載物や高さによってはそれ以上)をご使用の上、組み立ててください。
- テーパードスリーブがずれたり、棚が水平になっていないなど、組み立てが不十分な場合はそのまま使用せず、もう一度組み立てし直してください。
- 傾斜した場所や、下が柔らかい場所など、不安定な場所には設置しないでください。物が落下して破損したり、転倒してケガをする恐れがあります。
- 柔らかく傷みやすい床面の場合、キズつけてしまう恐れがありますので、引きずったりしないでください。
- 棚板のメッシュよりも小さいものは、落下して破損する原因となりますので、小さいものを載せる際は、別売の「アクリル板止」の併用を推奨いたします。
- キャスターで移動の際は、倒れやすい物や滑りやすい物を取り除いてください。また、急激な移動は、物がずれたり落下してケガの原因になります。
- 水槽等を載せることは、ご遠慮ください。水槽等が破損するおそれがあります。
- 棚位置の高さを変更する際は、上に載っている物をすべて下ろしてから行ってください。物品の破損やケガの原因となります。
- 商品の改造は機能低下の原因となりますので、絶対におやめください。
- 清掃は薄めた中性洗剤を含んだ布を固く絞って、軽く拭いてください。シンナー等の有機溶剤の使用は、塗装表面を侵す恐れがあるため、避けてください。
- 水分が付着した場合、シミ、錆などの原因となりますので、必ず乾いた布で拭き取ってください。
- 粘着テープ等を貼り付けると表面塗装が剥がれる場合があります。

### ■ 完成図(例)

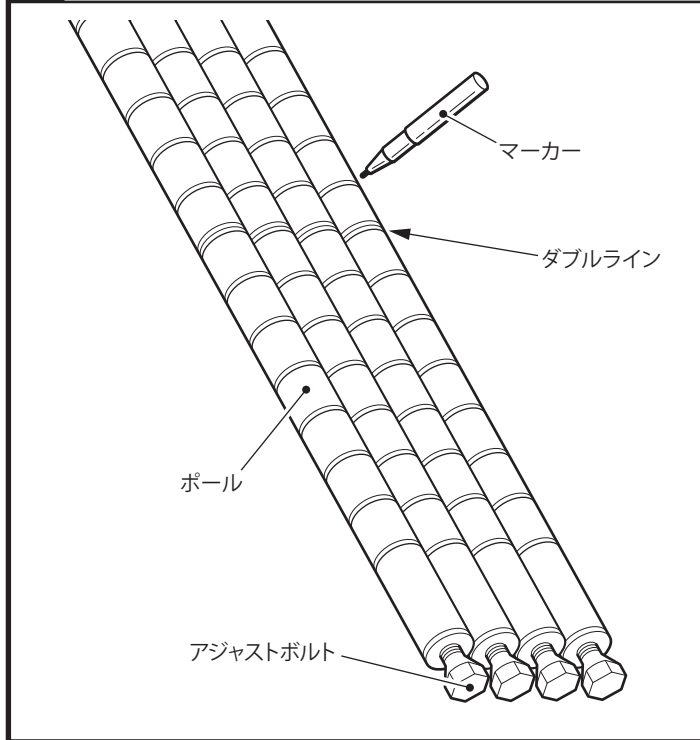


## ■ 組み立てかた

### ● 組み立てにご用意いただくもの

- ・プラスチックハンマーまたは木槌(金属製の物を代用する場合は、キズ、破損を防止するために必ず当て布・当て木などを施し、本製品を直接たたかないでください。)
- ・マーカ―等
- ・当て布または当て木

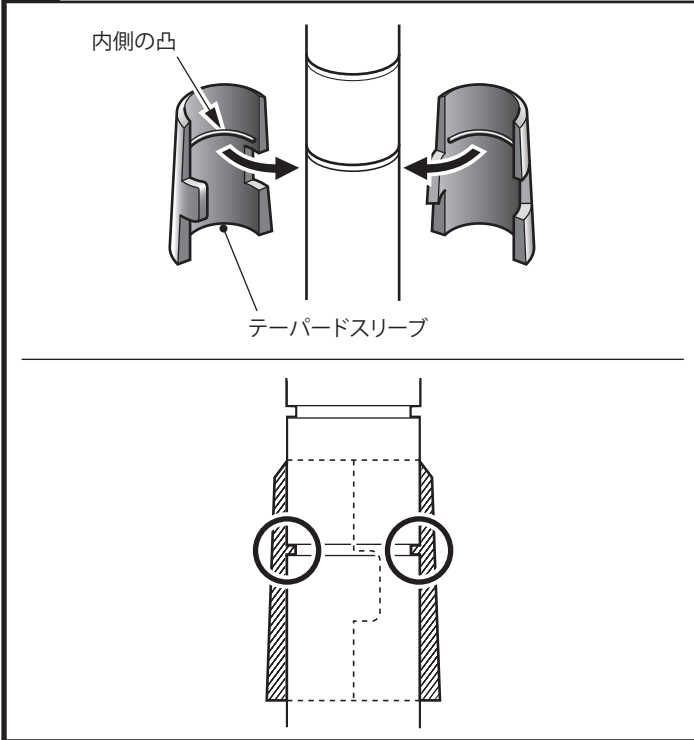
### 1 棚の取り付け位置を決定



棚に載せる物の大きさに応じて25.4mm(1インチ)ピッチの目盛、あるいは約20cm毎に印されたダブルラインを目安にして、棚の取り付け位置を決めます。この時、マーカ―などでポールに印をつけると便利です。ポールは先端にアジャストボルトのある方が下になります。

**ご注意** ポールや棚を置くときは、壁に立てかけず、床面に横にして置いてください。転倒し床面や家具等を傷つけたり、ケガをする恐れがあります。

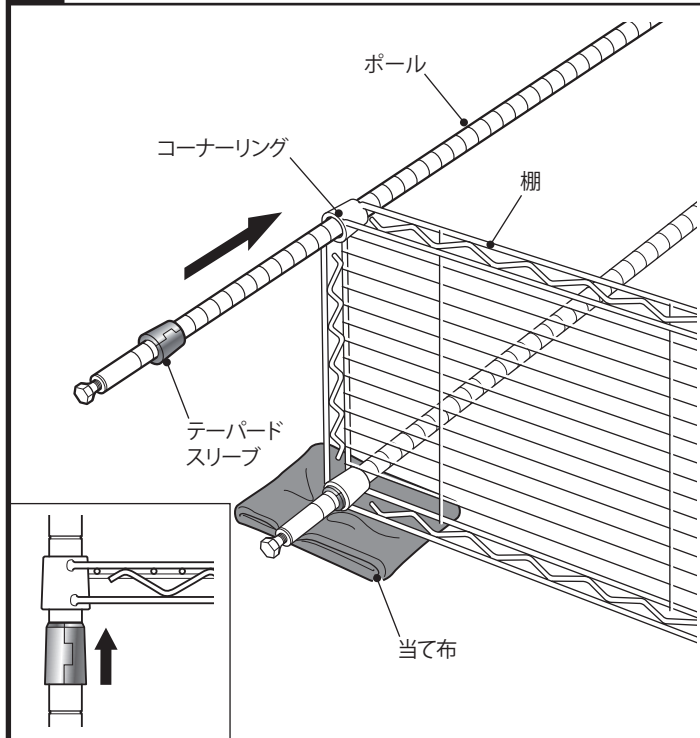
### 2 テーパーダースリーブをセット



最下段の棚の取り付け位置に、テーパードスリーブの内側の凸とポールの溝が合うように、1枚ずつカチッとセットします。テーパードスリーブは裾の広がっている方を下向きにしてください。  
※ 棚を一段組み終えるごとにセットしてください。

**ご注意** ポールとテーパードスリーブのかみ合いが悪いと、完全に固定できません。棚がずれたり、物が落下して破損やケガの原因になります。

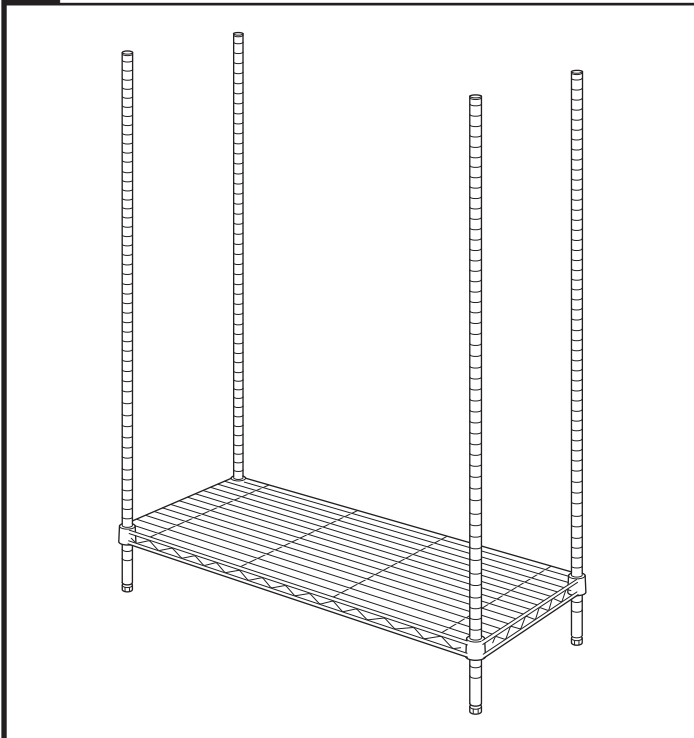
### 3 組み立ては最下段の棚から



棚を横にして、四隅のコーナーリングにテーパードスリーブがほとんど隠れるところまで、ポールをそれぞれ差し込みます。

**ご注意** ポールを差し込む際は、指などを挟まないようご注意ください。厚い布等をシェルフの下に敷いてください。

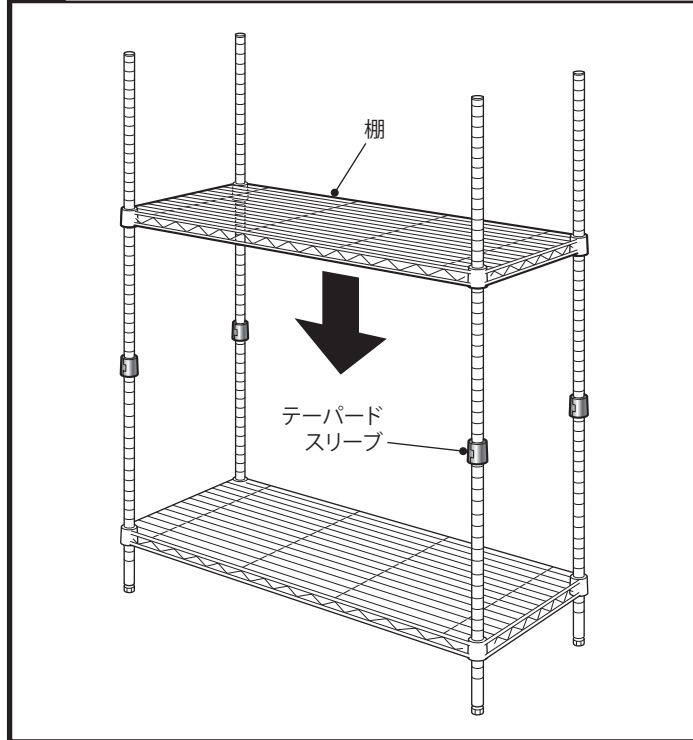
### 4 セットした棚を起こす



セットした棚を起こします。この時、テーパードスリーブがずれずに棚と正しくかみ合っているかどうか確認してください。

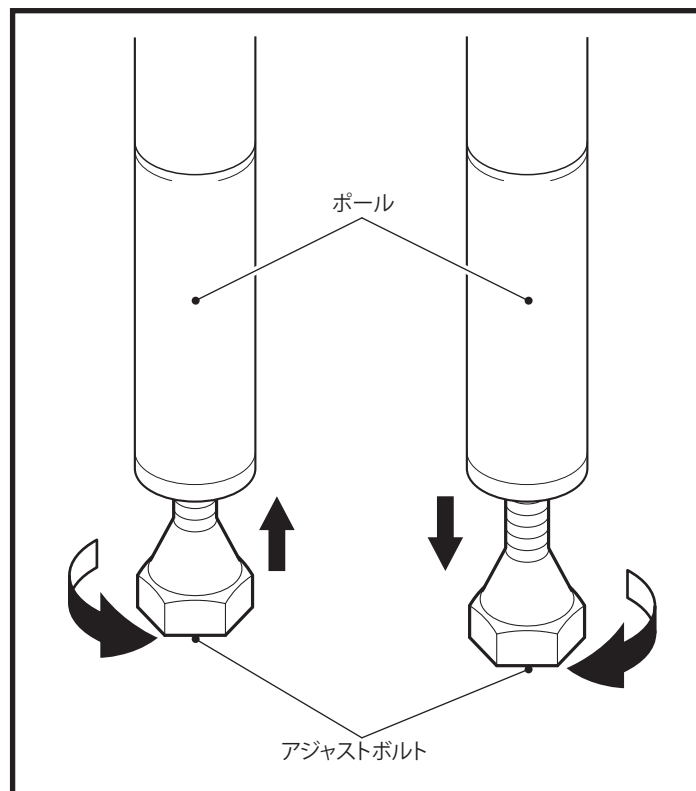
**ご注意** 安定性のある場所で組み立てを行ってください。起こした棚が転倒し、ケガや破損を招く恐れがあります。

### 5 2段目以上の棚を組み立て



2と同様に、ポールにテーパードスリーブをセットし、棚を上から通して取り付け位置まで差し込みます。すべての棚を同じ要領で取り付けてください。

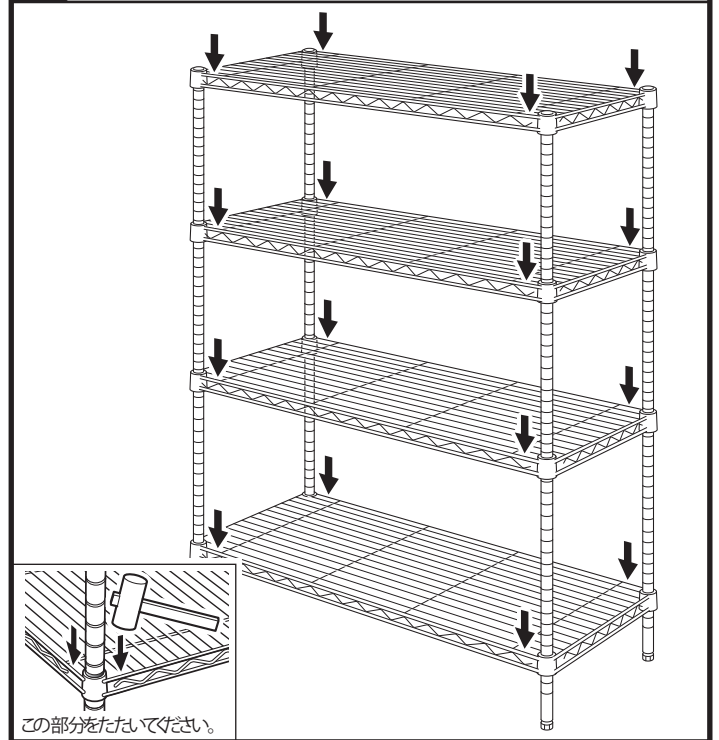
## ■ 調整のしかた



床が水平でないときは、ポール下部先端のアジャストボルトを回して、ガタつきがないよう調整してください。

**ご注意** ガタつきや不安定なままでの使用は、転倒や物品落下の恐れがあります。棚が水平になるよう確実に調整を行ってからご使用ください。

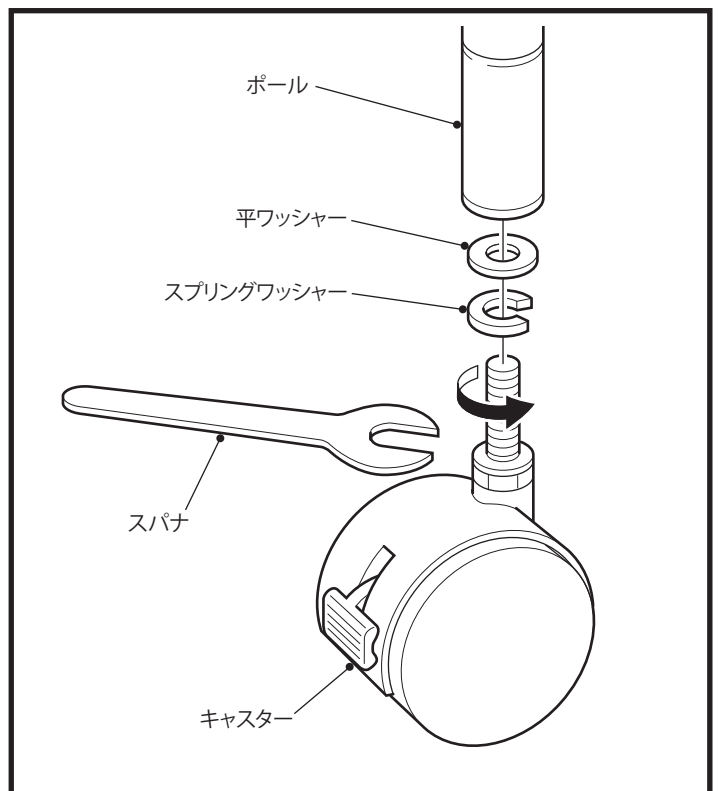
### 6 完成



棚を取り付け終わったら、すべての棚のコーナーリングに近い部分を、プラスチックハンマーか木槌でたたいてしっかり固定してください。

**ご注意** プラスチックハンマーまたは木槌を使用する際、床を傷つける恐れがありますので、ポールと床の間に布などをあて、床面を保護してください。

## ■ キャスター(別売)を取り付ける場合



ポール下部のアジャストボルトを取り除き、キャスターのネジ部にスプリングワッシャー、平ワッシャーの順に入れポスト下部へ差し込みます。付属のスパナで動かなくなるまで締め込みます。

**ご注意** スパナは後日取り外しに使用しますので、大切に保管してください。